



やはりある！ 前回帝王切開の子宮破裂

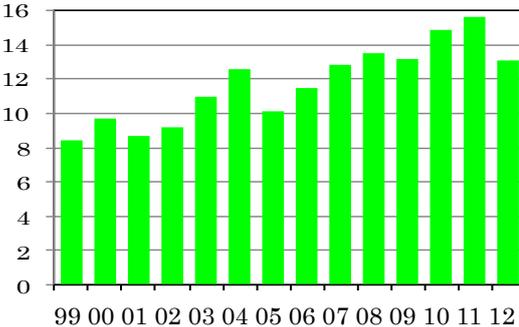
一度帝王切開を受けると、お腹の傷だけでなく、子宮にも図のような瘢痕が残ります。この瘢痕部は、通常の子宮筋層よりも薄かったり弱い場合もあり、次回の出産時に破裂する危険性があります。



近年、帝王切開率の上昇により、前回の出産が帝王切開であった妊婦さんの割合も年々増加し、99年には8%台だったのが、近年は14%前後となっています。前回帝王切開例の取り扱いは、産科学の中でも大きなテーマとなっています。

この問題が難しいのは、子宮破裂が起こる確率は、前回帝王切開でない方の10倍とはいえ0.5%(200回に1回)程度で、多くの方は自然に出産可能であることです。仮に子宮破裂の確率が10%もあれば迷わず全例帝王切開としましょう。

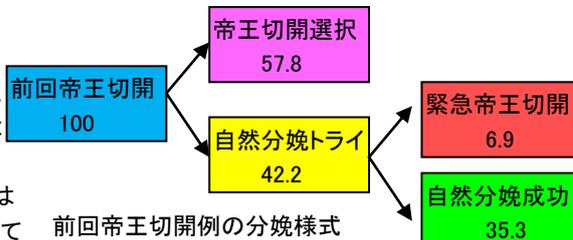
前回の出産が帝王切開の妊婦さんの割合(%)



万一子宮破裂を起こすと、母体の1%、胎児の50%に生命の危険があります。200分の1のさらに1%、50%ですので、実際に生命の危険があるのは、母体で2万回に1回、胎児で400回に1回となりますが、これはわが国の妊産婦死亡率(出産10万あたり4.4)、周産期死亡率(出生1000あたり3.3)と同水準です。前回帝王切開の方を全て最初から帝王切開としても予後が良くなるという証拠はありません。

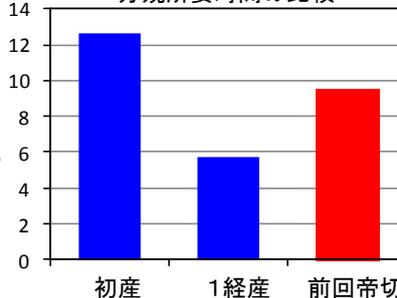
当院の前回帝王切開の方の出産はどうなっているでしょう。

全体の57.8%は最初から帝王切開を選択しています。これはご本人が帝王切開を希望された場合と、医学的に自然分娩は危険(骨盤が狭い、エコーでみて子宮の傷が薄いなど)と判断された場合が半々です。残る42.2%の方が自然分娩をトライしており、その約84%、全体の35.3%の方が自然分娩に成功しています。緊急帝王切開となった6.9%の多くは予定日を1週間以上過ぎてても陣痛が来ないか、来てても分娩進行しなかった場合で、超緊急例は今回が初めてです。



前回帝王切開で、今回が2人目の方が経膈分娩された場合の分娩所要時間は、9時間31分で、下から産むのは初めてであるにもかかわらず、普通の初産婦よりかなり短く、経産婦に近いことが右図から分かります。

分娩所要時間の比較



当科の前回帝王切開取扱いは、妊婦さんの状況、希望をよく考慮して、条件を満たす方のみ慎重に自然分娩を目指す方針ですが、今後もこの方針に変更はありません。

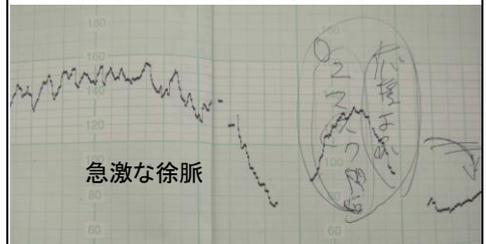
【読者Q】「帝王切開は何回までできますか？」という質問に対し、「3回は大丈夫です」というのが一般的な回答だと思われます▼実際平成11年以降の12442例のうち、過去2回帝王切開すなわち今度が3回目の方は186名いて、もちろん全員帝王切開でしたが、無事に終了しています。今回が4回目の方は15名でこちらも全員無事でした▼しかし上には上がおり、7回帝王切開をしたギネス級の経験が当院にあります。7回目も癒着等も軽く、手術は普通に終了しました▼70歳でエベレストに登頂した人がいるからといって普通の70歳がエベレストに登れるわけではないように、当然のことながら皆が何回でも帝王切開できるわけではありません。個々の状況は担当医にお尋ねください。

母子とも無事退院

当院で出産をデータベース化した平成11年以後の12442件の出産で、前回は帝王切開であったのは1468例でした。2月6日に1469例目にして初の子宮破裂が発生しました。

Tさん(34才、前回前置胎盤にて帝王切開)は切迫早産のため、妊娠33週から入院し、子宮収縮抑制剤の点滴を受けていました。2月6日、36週5日にて点滴を終了したところ、夕方から陣痛が発来しました。

Tさんは自然分娩を希望されていたため、分娩監視装置で持続モニターしながら経過をみていました。21時28分に突然それまで整調だった胎児心音がいきなり徐脈になりました。



当直医が駆け付け子宮破裂か胎盤早期剥離と診断し、直ちに超緊急帝王切開を決定しました。麻酔科医により短時間で導入できる全身麻酔が行われ、帝王切開を開始。開腹すると子宮の瘢痕部がそのまま破裂しており、そこから胎盤がはみ出していました。胎盤の脇の羊膜を破り22時13分に児を娩出。夜間ではありましたが、急激な徐脈の発生から43分で手術開始、45分で出生となりました。



新生児(男児:2674g)は直ちに小児科医師2名により蘇生処置が施され、循環・呼吸の状態を示すアプガースコア(10点満点)は生後1分で3点でしたが、5分で7点に回復。一時呼吸の補助を要すも順調に経過しました。

母体は出血が多かったものの、子宮も温存することができ、出産後9日目に母子揃って退院となりました。産科、麻酔科、小児科3科の連携で迅速に対応できたケースでした。